

フィロソフィック・インベストメント・トラストー  
**ウイントン・パフォーマンス連動  
満期時元本確保型ファンド2  
(豪ドル建)**

## 交付運用報告書

作成対象期間 第8期  
(2015年8月1日～2016年7月31日)

その他記載事項  
運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

**ムーア・マネジメント  
(バーミューダ)リミテッド**

代行協会員

**三菱UFJモルガン・スタンレー  
証券株式会社**

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、フィロソフィック・インベストメント・トラストーウイントン・パフォーマンス連動満期時元本確保型ファンド2(豪ドル建)(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第8期の決算を行いました。

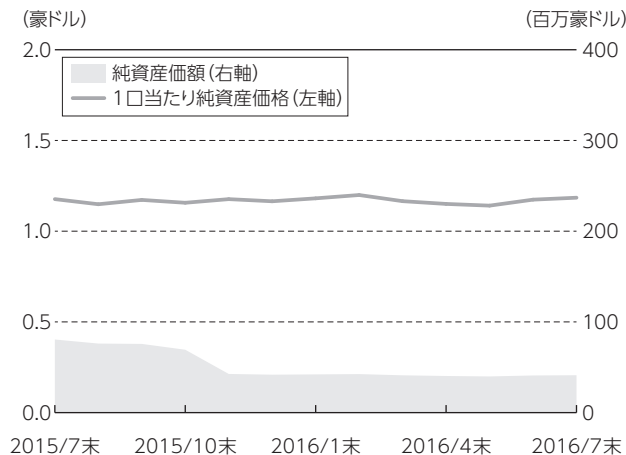
ファンドの投資目的は、最終買戻日(2018年7月2日)をいいます。以下同じです。)における受益証券一口当たり純資産価格が募集価格以上となることを確保しつつ、中期的にキャピタル・ゲインを追求することです。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第8期末	
1口当たり純資産価格	1.1845豪ドル
純資産価額	41,211,408.86豪ドル
第8期	
騰落率	0.66%
1口当たり分配金合計額	該当事項はありません。

(注)1口当たり純資産価格および純資産価額は、ファンドの定められた存続期間全体にわたる受託報酬、監査費用およびその他の運用費用に対する準備金を含むものであり、これらの費用を発生時に費用計上しているファンドの財務書類の数値とは異なる場合があります。また、騰落率は、上記の1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

## ◀ 運用経過 ▶

### 【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】



第7期末の1口当たり純資産価格：

1.1767豪ドル

第8期末の1口当たり純資産価格：

1.1845豪ドル

第8期中の1口当たり分配金合計額：

該当事項はありません。

騰落率：

0.66%

(注1) ファンドは分配を行わない方針であるため、課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。

### ■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

ファンドの投資対象である9.5年豪ドル建てゼロ・クーポン債(以下「ゼロ・クーポン債」といいます。)の価格は、当期を額面の90%を若干下回ったところで開始し、当期末には額面の94%を若干下回るところまで上昇しました。また、同じくファンドの投資対象である9.5年豪ドル建てパフォーマンス・リンク債(以下「パフォーマンス・リンク債」といいます。)の価格は、当期を額面の約28.1%で開始し、2016年5月には21%を下回るところまで下落した後、当期を額面の約24.4%で終わっています。

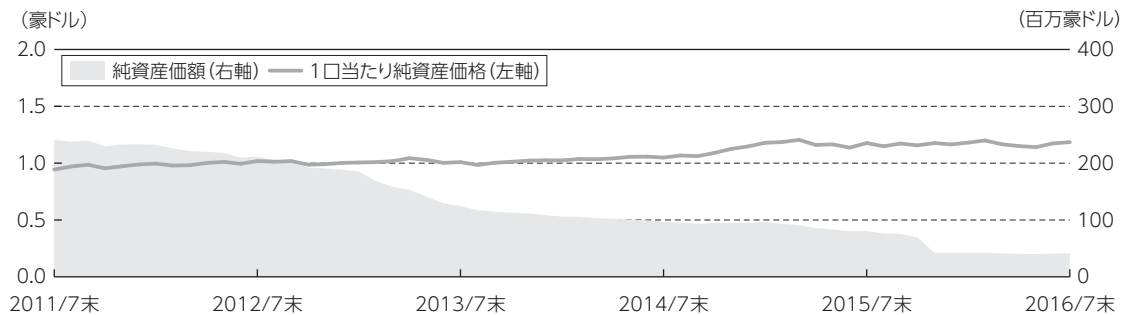
## 【費用の明細】

項目	項目の概要	
管理報酬	報酬対象額(募集価格である1豪ドルに計算の日の発行済受益証券口数を乗じた金額をいいます。以下同じです。)の1億豪ドルに相当する部分までについて年率0.3%(最低年間報酬を2万豪ドルとします。)、1億豪ドルを超える部分について年率0.1%	管理報酬は、信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
受託報酬および受託事務代行報酬	報酬対象額の年率0.1%(最低四半期報酬5,000豪ドル)	受託会社および受託事務代行会社に対する報酬は、信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社および受託事務代行会社に支払われます。
代行協会員報酬	報酬対象額の年率0.1%	代行協会員報酬は、受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
販売報酬	報酬対象額の年率0.4%	販売報酬は、投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
その他の費用(当期)	0.35%	弁護士、税理士および監査人の報酬および費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等)、証券取引に関するブローカー報酬ならびに副保管受託銀行の報酬および費用等として支払われます。

(注1)各報酬については、有価証券報告書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の財務書類上の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2)各項目の費用は、ファンドが組み入れているゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債の費用を含みません。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】



	第3期末 2011年7月末日	第4期末 2012年7月末日	第5期末 2013年7月末日	第6期末 2014年7月末日	第7期末 2015年7月末日	第8期末 2016年7月末日
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	0.9436	1.0184	1.0091	1.0491	1.1767	1.1845
騰落率 (%)	9.61	7.93	-0.91	3.96	12.16	0.66
純資産価額 (千豪ドル)	240,659	211,411	124,453	96,586	80,582	41,211

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## 【投資環境について】

ファンドは、その資産の大半をゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債に投資しています。

管理会社は、ファンドの設定日の後に算定される純資産額の一部をゼロ・クーポン債に投資することにより、最終買戻日まで受益証券を保有する受益者のために豪ドルによる元本確保の達成を目指します。

パフォーマンス・リンク債への投資により、MA WCM FFリミテッド(以下「投資先ファンド」といいます。)のパフォーマンスに対する投資機会を提供します。

ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド(Winton Capital Management Limited) (以下「ウィントン社」といいます。)は投資先ファンドのトレーディング・アドバイザーを務めています。

以下の「マーケットレビュー」および「ウィントン・フューチャーズ・ファンドの実績」は、ウィントン社による運用状況に関する説明です。

(第8期：2015年8月1日～2016年7月31日)

### マーケットレビュー

当期の債券・短期金利市場では、中国を含む世界経済減速への懸念が広がった2015年8月、9月に金利が低下しました。さらに、2016年1月には世界経済の健全性に対する懸念が再燃し、世界の株式市場が大幅に下落する中で、各国の中央銀行が追加金融緩和策をほのめかしたことで債券・短期金利市場ではさらなる金利の低下トレンドが形成されました。その後、米利上げの機運が高まったことや中国経済に対する懸念が和らいだことで金利は上昇したものの、6月の英国のEU離脱に関する国民投票の結果を受けて世界株式市場が急落する中で債券・短期金利市場の金利は再び大きく低下しました。エネルギー市場は前期に続き全体として下落トレンドとなりました。特に2015年8月以降グローバル経済の成長に対する懸念が再燃したことで軟調に推移し、2016年2月には原油在庫の増加やイランに対する経済制裁解除を背景にリーマン・ショック以来の最安値を更新しました。5月にはナイジェリア、リビア、ベネズエラ、カナダの供給障害を受け、世界の供給過剰懸念が払拭され始めたことにより、原油価格は1バレル50米ドル近くまで上昇しましたが、7月には供給過剰を示すデータが公表されたことで再び下落しました。また、株式市場では、2015年8月の中国市場に端を発する世界株式市場の急落や年初の世界的な株安等の下落局面があった一方で、2016年3月には中国経済への懸念の緩和や米利上げ観測により上昇に転じました。4月・5月にはエネルギーおよび素材関連株の上昇等を背景に株式市場はさらに上昇しましたが、6月の英国のEU離脱に関する国民投票を受け再び急落する等、当期は変動の大きい期間となりました。

### ウィントン・フューチャーズ・ファンドの実績

ウィントン・フューチャーズ・ファンド・リミテッド(Winton Futures Fund Limited) (以下「ウィントン・フューチャーズ・ファンド」といいます。)は、ウィントン・ファンド・マネジメント・リミテッド(Winton Fund Management Limited)が運用し、ウィントン社が投資アドバイザーを務める旗艦ファンドの名称です。

当期は、債券・短期金利およびエネルギー市場で原油価格の下落や世界経済減速の懸念を背景に収益を獲得したものの、変動が激しかった株式市場からの損失が上回り、全体でマイナスの収益となりました。最も収益貢献度の高かったセクターは債券セクターでした。次いで、短期金利セクター、エネルギーセクター、畜産物セクターの順でウィントン・フューチャーズ・ファンドの収益に貢献しています。一方で、市場の急反転や揉み合いにより苦戦した株式指数セクターおよび現物株式セクターが最もマイナスに寄与した他、貴金属セクターや通貨セクター等からも若干の損失を計上しています。

債券・短期金利セクターでは、2016年初めに世界経済の健全性に対する懸念から特にユーロダラー、独国債10年物、日本国債10年物等の先物価格が上昇し、収益を獲得しました。また、同年6月の英国投票日当日に債券・短期金利の先物価格が上昇したことも収益に繋がりました。エネルギーセクターは、昨年8月以降グローバル経済の成長に対する懸念から継続的に原油価格が下落し、2016年も原油在庫の増加やイランへの経済制裁解除、供給過剰を背景とする下落トレンドを上手く捉え、ウィントン・フューチャーズ・ファンドは当該セクターから収益を獲得しました。

一方で、株式指数・現物株式セクターでは、2015年の中国経済の成長鈍化に対する懸念、年初の中国人民元の切り下げや英国のEU離脱に関する国民投票を受けて相場の乱高下が続く、トレンドが掴みづらい市場となりました。その結果、ウィントン・フューチャーズ・ファンドは当該セクターから損失を計上し、特に株式指数セクターは最もマイナスに寄与したセクターとなりました。

なお、記載されている運用体制はウイントン・フューチャーズ・ファンドのものであり、投資先ファンドの運用体制と必ずしも同じではありません。ウイントン・フューチャーズ・ファンドと投資先ファンドの証拠金に使用されていない預かり資産の運用方法は必ずしも同じではありません。

投資先ファンドはウイントン・フューチャーズ・ファンドのパフォーマンスを再現することを目指しますが、投資先ファンドのパフォーマンスは必ずしもウイントン・フューチャーズ・ファンドのパフォーマンスと正確には一致しません。

#### ※ウイントン・フューチャーズ・ファンドのパフォーマンスについて

ウイントン社からは、報告期間に対応するパフォーマンスが提供されていません。ウイントン社から提供された月次のパフォーマンス数値から、報告期間について管理会社が計算したところによると、当該期間についてのウイントン・フューチャーズ・ファンドのパフォーマンスはマイナス0.36%でした。

### 【ポートフォリオについて】

投資先ファンドへの連動率は、69%を若干上回る水準で当期を開始し、2016年1月には80%を若干上回る水準となりましたが、4月には再び70%を下回り、当期を約66.7%で終えています。受益証券1口当たり純資産価格は、当期を1.18豪ドル近辺で始め、2016年2月には1.20豪ドルを若干下回る水準となりました。その後、5月まで一旦低下した後、6月から7月で上昇し、当期を1.1845豪ドルで終えています。

### 【分配金について】

該当事項はありません。

## 《今後の運用方針》

ファンドは、今後も、最終買戻日における受益証券1口当たり純資産価格が募集価格以上となることを確保しつつ、中期的にキャピタル・ゲインを追求するという投資目的に沿い、ゼロ・クーポン債とパフォーマンス・リンク債への投資を継続します。

## 《お知らせ》

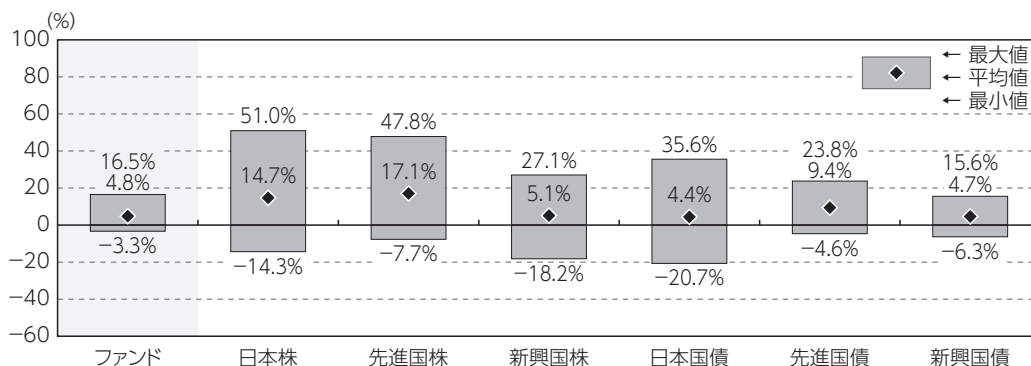
該当事項はありません。

## 《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託
信託期間	ファンドは、早期に終了しない限り、2018年8月9日に終了します。
運用方針	ファンドの投資目的は、最終買戻日における受益証券一口当たり純資産価格が募集価格以上となることを確保しつつ、中期的にキャピタル・ゲインを追求することです。
主要投資対象	シグナム・モメンタム・リミテッド(Signum Momentum Limited)により発行されるゼロ・クーポン債およびゴールドマン・サックス・フィナンシャル・プロダクツリミテッド(Goldman Sachs Financial Products I Limited)により発行されるパフォーマンス・リンク債
ファンドの運用方法	管理会社は、受益証券の発行手取金(ファンドの設立および受益証券の募集に関連する費用ならびにファンドの資産から支払われるその他の手数料および費用のための準備金を控除した後の)全額を、ゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債に投資することにより、投資目的を達成することを目指します。管理会社は、ゼロ・クーポン債およびパフォーマンス・リンク債を同数量で購入します。
分配方針	ファンドは、受益者への分配を行わない方針です。

### (参考情報)

#### ● ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所が作成

※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2011年12月から2016年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※このグラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

\*各資産クラスの指数

日本株 … 東証株価指数(TOPIX)(配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSA1指数(配当込)(豪ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)(豪ドルベース)

日本国債 … シティ日本国債インデックス(豪ドルベース)

先進国債 … シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし)(豪ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

※日本株および新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより豪ドル換算しています。

## 《ファンドデータ》

## 【ファンドの組入資産の内容】

## ● 組入上位資産

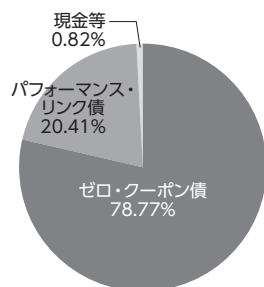
(組入銘柄数: 2銘柄)

(2016年7月31日現在)

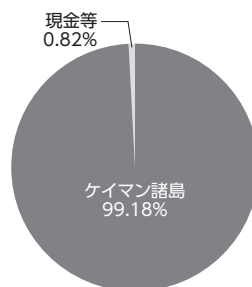
	組入比率
Signum Momentum Limited Zero 2008-02	78.77%
Goldman Sachs Financial Products I Limited Winton 2008-12	20.41%

(注) 組入比率は純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。以下の各グラフも同様です。

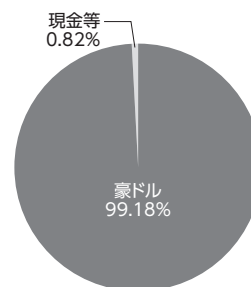
## ● 資産別配分



## ● 国別配分



## ● 通貨別配分



(2016年7月31日現在)

(注1) 上記の比率は、ファンドの純資産価額に対する当該資産の金額の割合を四捨五入して記載しています。したがって、合計の数字が100%とならない場合があります。

(注2) 当期末の組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

## 【純資産等】

第8期末	
純資産価額	41,211,408.86豪ドル
発行済口数	34,790,000口
1口当たり純資産価格	1.1845豪ドル

(単位:口)

第8期中		
販売口数	買戻口数	発行済口数
0 (0)	33,690,000 (33,690,000)	34,790,000 (34,790,000)

(注) ( ) の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。